

問1 明治初期の政治改革において、旧藩主から土地と人民を天皇に返還させた「版籍奉還」が行われた目的と、その後の1885年に伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任した出来事の説明として、正しい組み合わせはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設 | 2. 武士の特権を廃止して平等な社会を作るための改革 — 議会政治を開始するための大日本帝国憲法の発布 | 3. 土地の所有権を認めて税制を安定させるための改革 — 外国との不平等条約を改正するための内閣制度の創設 | 4. 藩を廃止して県を置くための一時的な改革 — 自由民権運動を抑えるための内閣制度の創設 |
|--|---|---|---|

問2 1873年（明治6年）に明治政府が実施した地租改正について、従来の年貢の仕組みを廃止し、地券の調査を完了させた際に出された法令の内容として正しいものはどれですか。課税の基準、税率、納税方法の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2022年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める | 2. その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を米で納める | 3. 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を米で納める | 4. その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|

問3 1867年に徳川慶喜が大政奉還を行った後、岩倉具視や薩摩藩・長州藩の勢力は、旧幕府側が新政府における政治的な主導権を握り続けることを防ぐためにある宣言を出しました。その直後に開かれた会議（小御所会議）において、徳川慶喜に対して突きつけられた要求の内容として最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 内大臣の官位を辞退し、徳川家の領地を返上すること | 2. 武家諸法度を廃止し、全国の諸大名を天皇の家臣とすること | 3. 薩摩藩と長州藩に対して軍事同盟を破棄するよう命じること | 4. 江戸幕府を再興し、天皇を補佐する関白の職に就くこと |
|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|

問4 明治時代初期、政府の権力が一部の有力な官僚に独占されている状況を批判し、国会を開設することを求めた「民撰議院設立建白書」が提出されました。この建白書において「有司専制」と批判された政治体制の中心人物であり、初代の内務卿として近代化を推進した人物は誰ですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 大久保利通 | 2. 板垣退助 | 3. 西郷隆盛 | 4. 吉田松陰 |
|----------|---------|---------|---------|

問5 1871年に明治政府が行った廃藩置県の説明として、その目的と社会への影響を正しく述べたものはどれですか。（2018年 広島公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地方に政府から府知事や県令を派遣して中央集権体制を確立し、学制や徴兵令などの近代化政策を進める土台とした。 | 2. 各地の藩主に引き続き領地の統治権を認め、武士の身分や特権を維持することで、地方の政治を安定させようとした。 | 3. 鎖国政策を継続するために、沿岸部の各県に強力な軍事権限を与えて、外国船の排除を徹底させる仕組みを整えた。 | 4. 封建的な統治体制をさらに強化し、各藩が独自に徴税や軍隊の整備を自由に行えるようにして、地方分権を推進した。 |
|--|--|---|--|

問6 明治初期、銀座に煉瓦造りの建物が並んだり、人々の間で牛鍋を食べる習慣が広まったりするなど、西洋の文化や生活様式が積極的に取り入れられて社会が大きく変化した現象を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 殖産興業 | 3. 富国強兵 | 4. 廃藩置県 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 明治維新後の日本において、福沢諭吉が『学問のすゝめ』を著し、広く読まれた背景や理由として最も適切なものはどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 四民平等が宣言されたものの、人々の間には依然として古い身分意識が残っており、近代国家にふさわしい個人の意識改革が必要だったから。 | 2. 大日本帝国憲法の発布を控え、政府が国民に対して西洋の法律や政治の仕組みを強制的に学習させる必要があったから。 | 3. 地租改正によって農民の負担が増大したため、生活を豊かにするための農業技術に関する知識が求められていたから。 | 4. 廃藩置県によって失業した士族たちが、武士の精神を維持するための心の拠り所として啓蒙書を求めていたから。 |
|---|---|--|--|

問8 明治政府が土地の所有者と地価を確定するために「地券」を発行し、地租改正を断行した主な目的として最も適切なものはどれですか。（2019年 山口公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|
| 1. 農民の税負担を大幅に軽減し、生活を安定させるため。 | 2. 政府の財政基盤を固め、毎年の税収を一定にするため。 | 3. 江戸時代のように、村全体で連帯して納税する習慣を維持するため。 | 4. 土地の売買を禁止し、すべての土地を国有化するため。 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設	1869年の版籍奉還は、土地と人民を朝廷に返すことで中央集権体制を確立する狙いがありました。一方、1885年の内閣制度の創設は、憲法の発布や国会の開設に備えて、効率的な行政運営を行うために整えられた仕組みです。初代内閣総理大臣には、のちに憲法制定の中心人物となる伊藤博文が就任しました。地租改正（土地の所有権と税制）や廃藩置県（藩の廃止）とは区別して理解する必要があります。
問2	答え 1 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める	明治政府は近代的な国家運営に必要な財政基盤を固めるため、地租改正を実施しました。それまでの年貢は、その年の収穫高に応じて米で納める「物納」であったため、気候による豊作・凶作や米の市場価格の変動によって政府の収入が不安定になるという欠点がありました。そこで、土地の所有権を認める地券を発行して「地価」を確定させ、その「3%」を一律に「現金」で納めさせる仕組みへと改めました。これにより、政府は農作物の出来不出来に関わらず、安定した税収を確保できるようになりました。
問3	答え 1 内大臣の官位を辞退し、徳川家の領地を返上すること	大政奉還によって政権は朝廷に返されましたが、徳川家は依然として日本最大の領地を持つ大名であり、新しく作られる議会形式の政権においても実権を握り続けることが予想されました。これを阻止したい倒幕派は、王政復古の号令を発した当日の夜、小御所会議において慶喜に対し、官位の辞退と領地の返上（辞官納地）を命じました。これにより徳川家の経済的・政治的な基盤を奪い、新政府から旧幕府勢力を完全に排除しようとしたのです。
問4	答え 1 大久保利通	明治政府の要職が薩摩藩や長州藩などの出身者によって占められていた体制は「有司専制（ゆうしせんせい）」と呼ばれました。大久保利通はその中心として内務省を設立し、殖産興業などの近代化政策を強力に主導しました。これに対し、板垣退助らは国民の意見を政治に反映させるべきだと主張し、自由民権運動へとつながる建白書を提出しました。
問5	答え 1 地方に政府から府知事や県令を派遣して中央集権体制を確立し、学制や徴兵令などの近代化政策を進める土台とした。	廃藩置県は、それまで各藩の藩主（知藩事）が持っていた土地と人民の統治権を完全に中央政府が掌握するための改革でした。政府から任命された官吏（府知事・県令）が地方行政を担うことで、全国一律の徴税や徴兵令、教育制度（学制）の導入が可能になり、近代国家としての基盤が固まりました。
問6	答え 1 文明開化	西洋の文化や技術を取り入れて日本の生活を近代化しようとした動きを指します。煉瓦街の建設や肉食（牛鍋）の普及はその象徴的な例です。選択肢にある殖産興業は近代産業の育成、富国強兵は経済と軍事の強化を目的とした政策であり、これらとは区別して理解する必要があります。
問7	答え 1 四民平等が宣言されたものの、人々の間には依然として古い身分意識が残っており、近代国家にふさわしい個人の意識改革が必要だったから。	明治政府は四民平等の政策を打ち出しましたが、長年続いた封建社会の影響は強く、国民の意識を近代化させる必要がありました。福沢諭吉は、一人ひとりが学問を通じて知性を磨き、独立した精神を持つことが国家の独立にもつながると考え、啓蒙活動を行いました。この本がベストセラーとなったのは、新しい時代の生き方を模索していた当時の人々に強く響いたためです。
問8	答え 2 政府の財政基盤を固め、毎年の税収を一定にするため。	地租改正は、近代国家としての基盤を固めるための財政改革でした。収穫量ではなく、あらかじめ定められた地価に対して一定の割合（当初は3%）を課税することで、天候に左右されず、計画的に予算を立てられる安定した国家収入を確保することを目指しました。また、地券を発行することで、誰がその土地の所有者であるかを公的に認め、土地の売買も自由になりました。

問1 明治維新の過程で行われた地方統治の変遷について、正しい説明はどれですか。（2020年 愛知公立入試 類似）

- 1869年に土地と人民を天皇に返させた「版籍奉還」の後、1871年に藩を廃止して官吏を派遣する「廃藩置県」が行われた。
- 江戸幕府が滅亡した直後に「廃藩置県」が行われ、すべての旧藩主は即座に領地から追放された。
- 「地租改正」によって税制を確立した後、その財源をもとにして藩を廃止する「廃藩置県」が実施された。
- 「廃藩置県」の結果、各地方の政治は、その土地の有力な武士が選挙で選ばれて担当することになった。

問2 明治新政府が中央集権国家を確立する過程で行った「版籍奉還」の目的と内容について、正しく説明しているものはどれですか。（2021年 三重公立入試 類似）

- 藩主から土地と人民の支配権を天皇に返上させることで、旧来の封建的な支配体制を解体し、政府による全国統治の基盤を作ること。
- 将軍から政権を朝廷へ返上させることで、武士による政治を終わらせ、天皇を中心とする新しい政治体制を開始すること。
- すべての藩を完全に廃止して全国に県を置き、中央政府から官吏を派遣して地方行政を直接支配すること。
- 徴兵令を施行して国民から兵士を集めるために、全国の戸籍を整理し、土地の所有権と地価を確定させること。

問3 明治政府が断行した士族の特権廃止は、当時の社会に大きな混乱を招きました。これらの政策がもたらした歴史的な影響と背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 栃木公立入試 類似）

- 特権を奪われ生活に困窮した士族たちの不満は、各地での武装蜂起を招き、最大規模の反乱である西南戦争へとつながった。
- 士族は自発的に帯刀を辞め、家禄の返上を申し出たため、新政府は一切の軍事的混乱を経験することなく近代化を達成した。
- 政府は士族の不満を解消するために、徴兵令を一時中断し、旧来の武士団をそのまま近代的陸軍として組織し直した。
- 家禄の廃止によって浮いた予算は、すべて江戸時代の借金返済に充てられ、産業の育成や軍備の拡張に使われることはなかった。

問4 明治政府が実施した地租改正の仕組みについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 秋田県公立入試 類似）

- 土地の所有者が、その土地の価格（地価）の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。
- 土地の耕作者が、その年の収穫高の3%を、地券の交付を受けた後に米で納める。
- 土地の所有者が、収穫高を基準として算出された金額を、物価の変動に合わせて現金で納める。
- 土地の耕作者が、地価の3%に相当する額を、政府の指示に従って米または現金で選択して納める。

問5 1873年に地租改正が実施された後、各地で農民による反対一揆が相次いで発生しました。この一揆が起きた背景として最も適切な説明はどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- 地租の税率が当初3%と高く、農民の負担が江戸時代の年貢と変わらないほど重かったから
- 土地を所有する権利が認められず、すべての土地が政府に没収されることへの不安が高まったから
- 納税の方法が米から現金に変わったことで、農産物の価格が暴落し生活が困窮したから
- 地価の算定基準が不公平であり、都市部の住民に比べて農民の税率が極端に高く設定されたから

問6 新政府による「王政復古の号令」に反発した旧幕府軍が、京都へ進軍する過程で新政府軍と衝突して始まった一連の内戦を「戊辰戦争」といいます。この戦争の始まりとなった、京都近郊で行われた戦いの名称を答えなさい。（2022年 和歌山公立入試 類似）

- 鳥羽・伏見の戦い
- 五稜郭の戦い
- 禁門の変
- 西南戦争

問7 1871年、明治政府はそれまで各地を治めていた藩主（知藩事）を免職にして東京へ集め、代わりに政府が任命した府知事や県令を派遣する改革を行いました。この「廃藩置県」と呼ばれた改革の主な目的は何ですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

- 中央政府が全国の土地と人民を直接支配する、中央集権体制を確立するため
- 徳川家定を再び最高権力者に据え、江戸幕府の体制を再構築するため
- 各藩の自律性を高め、それぞれの地域で独自の貿易や外交を行わせるため
- 日米修好通商条約に基づき、外国人の居住区を全国に広げるため

問8 朝鮮への出兵をめぐる議論（征韓論）に敗れて政府を去った板垣退助が、その後、国民の政治参加を求めて展開した活動として最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

- 民撰議院設立建白書を提出し、自由民権運動を開始した
- 領事裁判権の撤廃を目指し、欧米諸国との条約改正交渉に尽力した
- 学制や兵役法を整え、富国強兵を推進する政策を打ち出した
- 士族の反乱である西南戦争を指導し、政府軍と戦った

答え合わせ・解説

問1	答え 1 1869年に土地と人民を天皇に返させた「版籍奉還」の後、1871年に藩を廃止して官吏を派遣する「廃藩置県」が行われた。	1869年の版籍奉還では、旧藩主が「知藩事」として引き続き統治を任されたため、中央集権化は不十分でした。そのため、1871年に廃藩置県を断行して藩そのものをなくし、中央政府が任命した官吏（府知事・県令）を各地に派遣する近代的な地方統治へと移行しました。
問2	答え 1 藩主から土地と人民の支配権を天皇に返上させることで、旧来の封建的な支配体制を解体し、政府による全国統治の基盤を作ること。	版籍奉還は、土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させる政策です。これにより、各藩主はそれまでの「領主」から「知藩事」という公職に任命される形となり、土地と人民が国の管理下にあることを示しました。これはのちの「廃藩置県」による強力な中央集権体制確立のための重要なステップとなりました。
問3	答え 1 特権を奪われ生活に困窮した士族たちの不満は、各地での武装蜂起を招き、最大規模の反乱である西南戦争へとつながった。	士族の特権を奪う一連の政策は、彼らのプライドと生活手段を奪うものでした。この不満が爆発し、佐賀の乱、神風連の乱、萩の乱といった反乱が相次ぎ、1877年には西郷隆盛を指導者とする西南戦争が勃発しました。この敗北によって、武力による政府批判は終焉を迎え、以後は言論による自由民権運動へと変化していきました。
問4	答え 1 土地の所有者が、その土地の価格（地価）の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。	明治政府は近代国家としての財政を安定させるため、1873年から地租改正を実施しました。それまでの「収穫高に応じた米での納付（年貢）」から、「地価を基準とした現金での納付（地租）」へと大きく転換しました。この際、政府は土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、納税の義務を耕作者ではなく土地の所有者に課しました。
問5	答え 1 地租の税率が当初3%と高く、農民の負担が江戸時代の年貢と変わらないほど重かったから	地租改正は政府の財政安定が主目的であり、農民の負担を減らすための改革ではありませんでした。税率が地価の3%と高額に設定され、実際の負担が軽減されなかったため、不満を抱いた農民による大規模な反対一揆が各地で起こりました。これを受けて政府は、1877年に税率を2.5%へと引き下げました。
問6	答え 1 鳥羽・伏見の戦い	政権返上後も続いた旧幕府勢力と新政府勢力の対立は、1868年1月の「鳥羽・伏見の戦い」によって武力衝突へと発展しました。これが約1年半にわたる「戊辰戦争」の初戦となり、戦いの舞台はその後、東北、そして北海道の五稜郭へと移っていきました。
問7	答え 1 中央政府が全国の土地と人民を直接支配する、中央集権体制を確立するため	廃藩置県によって、各地の旧大名（知藩事）による支配を終わらせ、中央政府が任命した官吏を派遣する仕組みを作りました。これにより、全国の税金や軍力を政府が一括して管理できるようになり、近代国家としての基盤が整えられました。なお、日米修好通商条約は幕末に結ばれたものであり、明治政府の初期改革とは区別する必要があります。
問8	答え 1 民撰議院設立建白書を提出し、自由民権運動を開始した	征韓論に敗れて下野（官職を退くこと）した板垣退助は、一部の官僚が権力を握る政府のあり方を批判しました。彼は国民が選んだ議員による議会の開設を求め、1874年に民撰議院設立建白書を提出。これがその後の自由民権運動の出発点となりました。

問1 津田梅子ら女子留学生が同行した岩倉使節団の派遣について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2019年 徳島公立入試 類似）

1. 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること
2. 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約を締結し、領土問題を解決すること
3. 大正デモクラシーの風潮の中で、普通選挙法の制定に向けた欧米の選挙制度を調査すること
4. 鎖国体制を維持するために、外国船を撃退するための軍事技術を秘密裏に導入すること

問2 1867年、徳川慶喜による大政奉還が行われた直後に、朝廷が発した宣言について説明した文章として正しいものはどれですか。この宣言は、徳川氏による政治を終わらせ、天皇を中心とする新政府を樹立することを目的としていました。（2024年 香川公立入試 類似）

1. 王政復古の大号令により、摂政や将軍などの旧来の職を廃止し、天皇を中心とする新しい政治体制の樹立が宣言された。
2. 廃藩置県により、全国の藩を廃止して県を置き、中央政府から知事を派遣して地方を直接統治する体制が整えられた。
3. 五箇条の御誓文により、広く会議を興し万機公論に決することなど、明治政府の新しい政治の基本方針が示された。
4. 版籍奉還により、各地の諸侯が所有していた土地と人民を天皇に返還させ、中央集権的な国家の基盤が作られた。

問3 明治時代初期の香川県西部で起きた「西讃農民騒動」などの一揆では、新政府が進めた改革への不満が爆発しました。この騒動の背景の一つとなった、国民に兵役の義務を課した制度の説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 香川公立入試 類似）

1. 四民平等の考えに基づき、身分に関わらず国民から兵を募る近代的な軍事組織の構築を目指した制度
2. 土地の所有者に地価の3%を現金で納めさせることで、政府の財政を安定させることを目指した制度
3. 満6歳以上の男女がすべて小学校で教育を受けられるようにし、国民の知識水準を高めることを目指した制度
4. 旧武士の特権であった帯刀を禁止することで、特権階級をなくし社会の近代化を推し進めた制度

問4 1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、約1年半にわたって繰り広げられた、新政府軍と旧幕府軍による一連の内戦を何といいますか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. 戊辰戦争
2. 西南戦争
3. 日清戦争
4. 応仁の乱

問5 明治政府が新橋と横浜の間に日本初の鉄道を敷設した背景や目的として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 欧米の技術を導入することで、近代化（文明開化）の成果を国内外に示すため
2. 江戸時代の鎖国体制を強化し、外国人の移動を制限するため
3. 全国の藩主が参勤交代を行うための移動手段を確保するため
4. 北海道の石炭を効率よく東京へ運ぶためのルートを確立するため

問6 1868年から翌年にかけて日本国内で展開された戊辰戦争の経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。
2. 鹿児島県の士族を中心とした勢力が、徴兵制に反対して新政府軍に対して大規模な反乱を起こした。
3. ペリーの来航をきっかけとして、全国の諸藩が協力して江戸幕府を倒すために軍を動かした。
4. 天皇から政治の権限を返された徳川慶喜が、再び政権を握るために諸外国の軍隊を呼び寄せた。

問7 明治政府が発した徴兵令が、当時の社会や人々に与えた影響や背景を説明したものとして、最も適切なものを選んでください。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 近代的な軍隊を組織するために、身分に関わらず満20歳以上の男子に兵役を義務づけたが、農村では働き手を失う不満から反対一揆も発生した。
2. 武士の特権を維持するために、旧武士階級の男子のみを対象として近代的な軍事訓練を施すことを目的とした。
3. 裁判員制度の導入に備えて、国民に司法への関心を高めさせるための社会教育の一環として位置づけられた。
4. 教育基本法の精神に基づき、軍事訓練を通じて規律正しい国民を育成することを主眼として全国の学校で実施された。

問8 1870年代前半、明治政府が欧米の先進的な制度や技術を視察するために派遣した岩倉使節団には、最年少の女子留学生としてある人物が同行していました。アメリカでの長期留学から帰国後、日本の女子教育の地位向上を目指して女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設した人物は誰ですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 津田梅子
2. 樋口一葉
3. 与謝野晶子
4. 平塚らいてう

答え合わせ・解説

問1	答え 1 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること	岩倉使節団は、岩倉具視を全権大使とし、木戸孝允、大久保利通、伊藤博文といった政府の有力者が参加した大規模な使節団でした。最大の目的は江戸時代に結ばれた不平等条約の改正交渉でしたが、当時の日本にはまだ近代的な法整備が整っていなかったため交渉は難航しました。一方で、欧米の政治、産業、教育などを直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問2	答え 1 王政復古の大号令により、摂政や将軍などの旧来の職を廃止し、天皇を中心とする新しい政治体制の樹立が宣言された。	大政奉還によって徳川慶喜が政権を朝廷に返上しましたが、倒幕派の岩倉具視や薩摩藩・長州藩の勢力は、徳川氏が依然として力を持つことを警戒しました。そこで、幕府を完全に廃止し、総裁・議定・参与の三職を置くなど、天皇を中心とする明確な新政府の枠組みを示すためにこの宣言が出されました。これにより、鎌倉時代から続いた武家政治が終焉を迎えました。
問3	答え 1 四民平等の考えに基づき、身分に関わらず国民から兵を募る近代的な軍事組織の構築を目指した制度	1873年に明治政府が出した徴兵令は、四民平等に基づき、武士の特権を廃止して国民全体から兵士を確保しようとするものでした。しかし、当時の農民にとっては労働力の喪失につながる重大な負担であり、さらに法令内にあった「血税」という言葉を「本当の血を抜かれる」と誤解したことなども重なり、西讃農民騒動のような激しい反対運動（血税一揆）が全国で発生しました。
問4	答え 1 戊辰戦争	徳川慶喜による大政奉還の後、王政復古の大号令によって権力を掌握しようとする新政府に対し、旧幕府勢力が反発したことで発生した国内最大級の内戦です。京都での衝突を皮切りに、東北、そして北海道の五稜郭へと戦火が広がりました。
問5	答え 1 欧米の技術を導入することで、近代化（文明開化）の成果を国内外に示すため	明治政府は、日本が近代国家であることを世界に示すために、鉄道などの交通インフラの整備を急ぎました。1872年の鉄道開通は、人々の生活や意識が大きく変わる「文明開化」の象徴となりました。これにより、それまでの徒歩や馬による移動に代わり、機械による迅速な大量輸送が可能になるという社会の変革を具体的に示す狙いがありました。
問6	答え 1 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。	戊辰戦争は、京都での鳥羽・伏見の戦いを皮切りに、北陸、東北、そして北海道へと戦地が移り変わっていきました。この戦争を通じて、薩摩藩・長州藩を中心とする新政府軍が、旧幕府軍やそれに同調する諸藩を制圧し、明治維新を推し進める基盤を固めました。選択肢にある「鹿児島県の土族による反乱」は、明治時代中期に起こった西南戦争の説明です。
問7	答え 1 近代的な軍隊を組織するために、身分に関わらず満20歳以上の男子に兵役を義務づけたが、農村では働き手を失う不満から反対一揆も発生した。	徴兵令は、国民の三大義務の一つとして位置づけられましたが、実際には家を継ぐ者や代金を支払った者が免除される規定（のちに廃止）があったり、農村の労働力が奪われることへの反発から「血税一揆」と呼ばれる激しい反対運動が起きたりするなど、制度の定着には困難が伴いました。裁判員制度や教育基本法は、それぞれ戦後や現代の制度・法律であり、明治初期の徴兵令とは関係がありません。
問8	答え 1 津田梅子	1871年に岩倉具視を代表とする岩倉使節団が派遣された際、当時6歳だった津田梅子は5人の女子留学生のうちの一人として渡米しました。帰国後、彼女は日本の女性が自立した社会人として活躍するためには高度な専門教育が必要であると考え、1900年に女子英学塾を創設しました。なお、五千円札の肖像にも採用されています。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 横浜	明治政府は、欧米の進んだ技術や制度を取り入れて国力を高める「文明開化」を推進しました。その象徴的な事業として、1872年にイギリスの技術協力を得て、新橋（東京）と横浜の間に日本初の鉄道が開通しました。横浜は開国以来、海外の文化や物資が流入する主要な拠点であったため、首都と結ぶルートとして優先的に整備されました。
問2	答え 1 薩摩藩や長州藩などの一部の出身者が権力を独占する藩閥政治を批判し、広く公衆の議論を反映させる議会の設置を求めるため。	当時の政府は、大久保利通ら薩摩・長州・土佐・肥前の4藩の出身者が主要なポストを占める「専制政治」を行っていました。建白書では、一部の役人だけで物事を決めるのではなく、民衆によって選ばれた議員が国政に参加する「民撰議院」を立てることで、国家の危機を救うべきであると主張されました。
問3	答え 1 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため	欧米列強に対抗できる近代国家を築くためには、地方の権力を中央政府に集中させる必要があります。木戸孝允は、土地と人民を天皇に返還させる版籍奉還や、藩を廃止して県を置く廃藩置県を通じて、政府が全国を一体的に統治できる基盤を作りました。
問4	答え 2 中江兆民	フランス留学で学んだ中江兆民は、ルソーの思想を漢文に訳した『民約訳解』を著しました。この著作は、国民が国家と契約を結ぶことで権利を得るという民主主義の考え方を広め、当時の知識人や運動家に大きな影響を与えました。
問5	答え 1 広く会議を開き、人々の意見を尊重して政治を行う。	「公論」とは公の議論や世論を意味します。江戸幕府のような独裁的な政治ではなく、広く意見を取り入れて政治を決定していくという姿勢を示しました。この方針は、後の自由民権運動において、議会の開設を求める根拠としても利用されることとなります。
問6	答え 1 士族による武力反乱では政府を変えられないことが明らかになり、言論によって国会開設を求める自由民権運動が主流となった。	近代的な装備を持つ政府の徴兵軍が士族の軍隊を破ったことで、武力抵抗の限界が証明されました。これ以降、反政府運動の中心は、板垣退助らによる言論での抵抗（自由民権運動）へと移行していきました。
問7	答え 1 課税の基準を土地の価格である「地価」とし、その3%を現金で納めさせた。	地租改正では、従来の「石高（収穫量）」ではなく、土地そのものの価値を示す「地価」が課税の基準となりました。税率は当初、地価の3%（のちに反対一揆を受けて2.5%に減税）と定められ、納入方法も米などの現物ではなく、すべて現金で行うことが義務付けられました。
問8	答え 1 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問9	答え 1 1869年に土地と人民を天皇に返させた「版籍奉還」の後、1871年に藩を廃止して官吏を派遣する「廃藩置県」が行われた。	1869年の版籍奉還では、旧藩主が「知藩事」として引き続き統治を任されたため、中央集権化は不十分でした。そのため、1871年に廃藩置県を断行して藩そのものをなくし、中央政府が任命した官吏（府知事・県令）を各地に派遣する近代的な地方統治へと移行しました。

問1 1869年に実施された「版籍奉還」から、1871年の「廃藩置県」へと改革が進められた主な理由として、最も適切な説明を選択してください。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。
2. 地租改正によって土地の所有権が確定したことで、藩という仕組みを残す必要がなくなったから。
3. 王政復古の大号令によって江戸幕府の力が完全に消滅し、諸藩の軍事力を統合する必要がなくなったから。
4. 欧米列強との条約改正を有利に進めるために、地方自治の独立性を高めることが求められたから。

問2 明治時代、欧米の文化や技術が積極的に導入された「文明開化」の象徴として、1872年に日本で最初の鉄道が開通しました。このとき、線路が敷設された区間の組み合わせとして正しいものを、次の記述から選んでください。（2020年 沖縄公立入試 類似）

1. 新橋と横浜の間
2. 上野と熊谷の間
3. 京都と神戸の間
4. 日本橋と浦賀の間

問3 明治時代の東京・銀座を描いた当時の錦絵には、夜の街を照らすガス灯の設置や、洋服を着用して往来する人々の姿が描かれています。この資料に見られるような、当時の都市部における建築様式の特徴として最も適切なものはどれですか。（2017年 滋賀公立入試 類似）

1. 伝統的な木造建築に代わり、レンガ造りの建物が立ち並ぶようになった
2. 外壁を厚く塗った土蔵造りの商家が、火災対策として流行した
3. 貴族の住居であった寝殿造が、一般市民の住宅にも取り入れられた
4. 石造りの巨大な城郭建築が、都市のシンボルとして各地に再建された

問4 1871年、明治政府はそれまで各地の旧藩主が統治していた仕組みを廃止し、中央政府が任命した官吏を派遣して全国を直接統治する体制を整えました。この出来事をきっかけに確立された、中央に権限を集中させる政治体制を何と呼びますか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 中央集権体制
2. 版籍奉還
3. 幕藩体制
4. 封建制度

問5 日本のスポーツ史と外交史を並べた年表において、岩倉使節団がアメリカ合衆国へ派遣された時期と、アメリカ人教師によって野球が日本に伝えられた時期は、明治時代の初期で重なっています。このように、明治政府が近代産業の育成や教育・文化の発展のために招いた外国人が果たした役割の説明として、正しいものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 欧米の先進的な技術や知識を直接指導し、日本の近代化を加速させた。
2. 鎖国制度を維持しながら、長崎の出島で限定的な学問の伝達を行った。
3. 大日本帝国憲法の草案を単独で作成し、日本の議会政治を完成させた。
4. 満州事変の調査のために派遣され、国際連盟に報告書を提出した。

問6 新橋・横浜間の鉄道が開通した1872年に、政府が公布した「学制」の内容や方針として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 高知公立入試 類似）

1. 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した
2. 天皇への忠誠や愛国心を育てることを教育の最優先事項として定めた
3. 各藩が運営していた藩校をそのまま存続させ、士族の英才教育を強化した
4. 国家が教育費のすべてを負担し、教科書を無償で配布することを決定した

問7 明治維新が始まった1868年を含む「19世紀」の国際情勢を説明した文として、当時の日本の状況と関連が深いものはどれですか。（2019年 福島県公立入試 類似）

1. 産業革命を達成した欧米列強が、原料や市場を求めてアジアへの進出を強めていた。
2. アメリカ合衆国がイギリスから独立を宣言し、民主主義に基づいた新しい国家を建設していた。
3. 第一次世界大戦が勃発し、それまで世界を主導していたヨーロッパ諸国の地位が低下し始めていた。
4. 大航海時代の影響でスペインやポルトガルの勢力が拡大し、キリスト教の布教が日本にも及んでいた。

問8 明治政府が実施した地租改正の背景には、政府が国家予算を編成する上で解決すべき課題がありました。それまでの「収穫高に応じた物納」という制度が抱えていた問題点として、最も適切なものはどれですか。（2021年 島根公立入試 類似）

1. 米の価格が全国一律であったため、地域ごとの不公平が大きかったこと。
2. 天候による豊作や不作によって収穫量が変動し、税収が不安定であったこと。
3. 農民が土地の所有権を持っていなかったため、耕作意欲が低かったこと。
4. 米による納税は重すぎて運搬が困難であり、流通が停滞していたこと。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。	版籍奉還は土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させるものでしたが、旧藩主が「知藩事」に任命されたため、実質的な統治構造は以前の藩体制と大きく変わりませんでした。政府が全国を一元的に支配し、近代化を加速させるためには、藩そのものを廃止して中央から官吏を派遣する「廃藩置県」が必要不可欠であったという背景があります。
問2	答え 1 新橋と横浜の間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスから技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年、現在の東京都にある新橋と、貿易の拠点であった神奈川県横浜を結ぶ区間に日本で最初の鉄道が開通しました。当時の蒸気機関車は、人々に文明開化の到来を強く印象付けることとなりました。
問3	答え 1 伝統的な木造建築に代わり、れんが造りの建物が立ち並ぶようになった	文明開化の影響により、都市部では西洋風の建築が導入されました。特に東京の銀座では、火災に強い街づくりと近代化の象徴として、イギリス人技師の指導による「れんが街」が建設されました。錦絵などの資料からは、ガス灯、馬車、そして洋服を着た人々など、生活のあらゆる面で西洋化が進んでいた様子を読み取ることができます。
問4	答え 1 中央集権体制	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家をつくるため、各地に分散していた権力を中央に集める必要がありました。廃藩置県によって藩が廃止され、中央から府知事や県令が派遣されたことで、全国を一括して統治する中央集権体制が整いました。1869年の版籍奉還では旧藩主が引き続き知藩事として統治していましたが、それでは不十分であったため、この断行に至りました。
問5	答え 1 欧米の先進的な技術や知識を直接指導し、日本の近代化を加速させた。	明治政府に招かれたお雇い外国人は、単に技術を伝えるだけでなく、学校教育を通じて日本人の指導者を育成することにも尽力しました。野球の伝来のように、彼らがもたらした文化は日本の市民生活にも浸透していきました。同時期に行われた岩倉使節団の派遣も、欧米の進んだ制度を直接学び、不平等条約の改正を目指すという共通の近代化目的を持っていました。
問6	答え 1 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した	学制は「村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理念のもと、国民全員に教育を普及させようとしたものです。これは富国強兵や殖産興業を支える人材を育成する目的がありました。当時はまだ授業料が家庭負担であったため、生活が苦しい農民などによる反対運動も起こりましたが、近代化の重要な一歩となりました。
問7	答え 1 産業革命を達成した欧米列強が、原料や市場を求めてアジアへの進出を強めていた。	19世紀は欧米諸国が工業化を進め、強力な軍事力を背景に植民地を拡大した帝国主義の時代です。日本が明治維新によって急速な近代化を急いだのは、こうした列強のアジア進出という国際的な圧力の中で、独立を守り対等な立場を築く必要があったという背景があります。アメリカ独立は18世紀後半、第一次世界大戦は20世紀初頭、大航海時代は15～16世紀の出来事です。
問8	答え 2 天候による豊作や不作によって収穫量が変動し、税収が不安定であったこと。	江戸時代の年貢制度は、収穫量に応じて納める量が決まる「検見（けみ）」などが一般的であったため、凶作の年には政府（幕府や藩）の収入が激減するという欠点がありました。近代国家として軍隊の整備や産業の育成（殖産興業）を進めるためには、確実に見通しの立つ予算編成が必要でした。そのため、収穫量ではなく、土地の価値に一定率をかけることで、天候に左右されない安定した現金収入を得ることが改革の最大の目的でした。